

キャリブレーション機能について（必要に応じてご利用ください）

✓ キャリブレーションとは？



取り付け時の設置状態が基準の位置となるように、設置時に発生する傾きの誤差を補正する機能です。

車に対して、ドライブレコーダーを傾けて取り付けってしまった場合は、その状況を初期状態として登録することが可能です。

傾いた状態でキャリブレーションを行わない場合、余分な危険挙動・注意挙動を検知する要因となります

✓ キャリブレーション実施手順



モード切替スイッチを押す場合は、機器を取り付け時の設置状態のままとしてください。

また車は坂道等には駐車せず、平坦な場所に駐車して実施してください。

順番	手順	確認点
1	スイッチを押すために、先の細いもの（クリップなど）をご用意ください。	
2	車のキーを回し、エンジンを ON してください。	
3	ドライブレコーダーが正常に起動できたことを確認してください	電源 LED のみ点灯します 
4	モード切替スイッチを押してください。 （本体左下に小さい穴があります） ※スイッチを押したタイミングでキャリブレーションが実施されます。 ※2 度押しはしないでください。（注 1）	ちゃんと押します（長押しは不要です） 
5	電源 LED が点滅し「車両確認モードで起動しました」とガイダンスが流れたことを確認してください。	電源 LED のみ点滅します 
6	エンジンを OFF してください。 （設定モードから抜けるため一度、エンジンを OFF してください。）	

注 1）2 度押し（2 度目は長押し）すると初期化モードにはいり、ドライブレコーダーに保持している時刻、最終位置情報が初期化されますのでご注意ください。

1 ～ 6 でキャリブレーション設定は完了です。

以降は通常通り、ドライブレコーダーをご利用ください

■お問い合わせ先

「doco です car」担当

TEL：0120-861-374

Mail：doco-car@ntt.com